

拡張現実 (AR) とスマートフォンを活用した観光マップの開発

情報メディア学部 齋藤一ゼミ 0822030 田福 佑也

背景

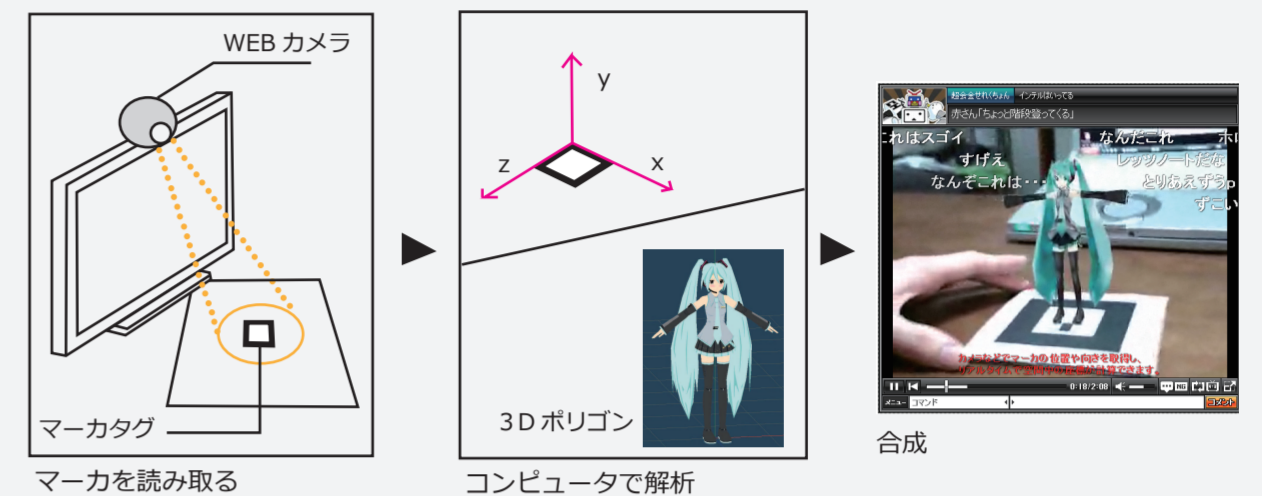


- ・隣接する札幌と比べ観光客が少ない (*1)
- ・江別には多くの観光コンテンツが存在する。
- ・江別の特産物を使ったお店が多数ある。

江別スイーツで江別を盛り上げよう！

拡張現実 (AR)

現実世界をコンピュータなどのデバイスを使い現実世界を補う何かを追加することで見える以上の情報を提示する技術である。



コンテンツ

江別のスイーツを紹介する以下3つのコンテンツを作成した。

- ・観光パンフレット
- ・ARを活用したスマートフォンアプリ
- ・Web 広告サイト



2010年度に試作した観光パンフレットについて、協力洋菓子店、10店舗に対してアンケート・ヒアリングを行った。その結果からパンフレットの改善を行い、更に twitter や facebook などのソーシャルメディアを活用したスマートフォンアプリ、および、Web 広告サイトを制作した。

パンフレット・サイト



パンフレット案



サイトデザイン案 (小林未来さんデザイン)

デザイン、正確な情報の記載、情報量などを検証し、いくつかのデザインを新たに作成した。

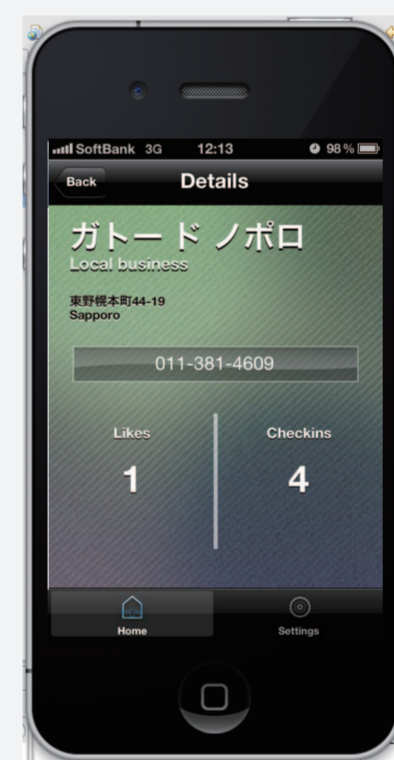
今回提案する改良版パンフレットは、サイト上から最新の情報とサイト限定の情報が記載された、簡略版パンフレットが印刷出来るシステムを提案する。

常に旬の情報が記載される利点と、時期ごとに情報が変わるため、リピーターを増加させる効果を期待する。

スマートフォンアプリ



AR 機能



twitter 機能



GPS 機能



位置情報を活用し、Twitter・Facebook を連携させ、AR を使って視覚的に楽しめる新しいスマートフォンアプリである。

【AR 機能】

位置情報と Facebook を連携させ AR を使用し、視覚的に楽しみ、お店の情報を閲覧する機能である。表示されているチェックインはそのお店に行ったことがある人数をさす。これにより、賑わってるかどうかを視覚的に確認することが出来る仕組みである。

【twitter 機能】

本企画用のアカウントとハッシュタグによる情報を閲覧することができる機能である。

【GPS 機能】

現在の位置情報を確認するとともに、お店までの道のりを検索する機能である。

まとめ

本研究では、2010年度に制作した江別市のスイーツに関する観光パンフレットを、協力店舗に対して行ったヒアリングを元に改良した。改良したパンフレットでは、全ての店舗について掲載していたARタグを一つに集約し、より多くの店舗情報を掲載できるようにした。また、パンフレットと連動したスマートフォンアプリとWebサイトを開発した。スマートフォンアプリは、位置情報を活用し、Twitter・Facebook と連携させ、AR を使って視覚的に楽しめるよう工夫した。課題として、制作したパンフレット、スマートフォンアプリ、サイトの検証が必要である。